

## 緑蔭の入試！

磐城緑蔭中学校・高等学校では、初めての卒業生から東北大学、筑波大学を始めとする国公立大学や私立大学への合格・進学を出し、着実に生徒の力を伸ばしています。その入試について紹介します。

### ○中学入試… C日程：2月21日（土）

国算理社の学科試験と面接を行います。学科試験は本校指定の問題集をきちんと学習しておけば大丈夫です。面接は保護者1名と受験生と一緒に受けるので、あまり緊張しないで臨めます。

中学校生活の特徴としては、学習の時間数が多いことで特に国語力を土台にして、数学と英語の力が伸びるようになっています。また生活面では、高校生と一緒にを行う行事が多く、特に、夏の競技大会、秋の駅伝大会、冬のウインマス（仮装などのパーティー）（写真）などは楽しく盛り上がります。



### ・内部進学制度

入試とは直接関係はありませんが、緑蔭中学校は、併設型中高一貫校なので、緑蔭中学の卒業生は無試験で緑蔭高校へ進学できます。しかも、入学金は最小で外部入学生の3分の1です。また、中学3年次に、磐城高校などの国公立学校や、いわき市外の私立学校を受験して、もし不合格であった場合でも磐城緑蔭高等学校に進学できます。

### ○高校入試

高校入試は、A日程、B日程、C日程の3回があり、すべて書類審査と面接だけの推薦入試形式です。

推薦には**専願推薦**と**併願推薦**の2通りがあり、さらに**併願推薦**は、**学校推薦**と**自己推薦**の2通りがあります。それぞれの特徴は次のようになっています。

### ・専願推薦…B日程：1月10日（土）午後

専願推薦は、本校への進学を第1志望とする受験生を対象とし、中学校での3年間の5教科の評定の合計が57以上を基準とします。専願合格者には、緑蔭高校から課題が出され、入学までの間に学習の空白期間がないように指導します。また、専願推薦で合格すると、入学金が18万円から10万円への減額の特典もあります。

### ・併願入試… B日程（専願入試と同じ）

### C日程：3月19日（木）午前

併願推薦は他校との併願が可能な推薦入試です。**学校推薦**は、3年間の5教科の評定の合計が60以上を基準とします。昨年も磐城高校や磐城桜が丘高校を併願する人たちが受験していました。入学手続きは県立学校合格発表の後までとなっています。**自己推薦**は、中学校での評定の基準は設けませんが、高校受験に対応した模擬試験などで、その集団の半分よりも上の成績を取れていることが目安となります。このくらいの学力があれば、3年間の大学受験勉強に耐えられると考えるからです。本校は大学進学を第一の目標とする学校ですので、学習意欲のある中学生の受験を求めます。

磐城緑蔭中学・高校の学力向上の秘訣をご紹介します。

### 「緑鐵受験指導ゼミナール」（以下「緑鐵」）との連携

※（webで「りょくてつ」を検索）

### ○東大生による学習指導

医学部(理Ⅲ)をはじめ、工学部(理Ⅰ)、経済学部(文Ⅱ)等に在籍している計5名の東大生がそれぞれの成功体験に基づき、志望校合格までの学習プランニングとTV会議システムによる学習指導をしています（学年ごとの全体指導は全員、個別指導は希望選抜制）。

### ○学習合宿（中3以上対象）

また、夏休みなどに行われる学習合宿は「緑鐵」本部のある東京・本郷の校舎において、1コマ3時間で午前9時から午後8時30分まで、英語と数学を集中的に学習します。とりわけ、受験の最高峰を突破した**東大理Ⅲ生による数学の講義**は秀逸です。また勉強の合間に講師たちから精神的な面でもいろいろな話を聞き、生徒たちは大きな刺激を受けます。

### 個別学習指導の充実

一方、校内では、授業に加えて日常的に各教科の教員が「家

庭教師」さながら、生徒それぞれの習熟度に応じた個別指導を行っています。朝のホームルーム終了後、生徒たちが職員室に課題を提出しに来ます。教員はそれを放課後までに添削し、返却します。必要によっては返却時に詳しく説明をすることがあります。生徒の要望に応じて復習に徹する場合もあれば、難しい課題をどんどんこなす生徒にはその実力に応じて課題を与えていきます。

### 自主的な学習習慣が身に付く

個別学習指導で進めて、高2生の夏休み中に数Ⅲを一通り終えた生徒もいます。個別学習指導は本校創立時からあったものではありません。生徒からの自主的な求めに応じて教員が対応しているうちに本校の慣例となったものです。本校生は学習に意欲的な生徒が多く、勉強を「やらされる」のではなく「やる」生徒が多いのが特長です。「やる」生徒は必ず学力が付きまします。これも、生徒と教員の距離が近く信頼関係が築けているからこそ可能なのです。



（東京本郷での合宿講義の様子）

# 磐城緑蔭中学校・高等学校

(tel) 0246-25-5341 [www.ryokuin.ed.jp](http://www.ryokuin.ed.jp)

※平成26年4月から「高等学校等就学支援金」制度が変わりました。世帯の状況に応じて、最大で1年間に297,000円が支給されます。（詳しくは、→「文科省、就学支援金」で検索）